

大阪市学校歯科医会「報告書」

○講話 ・ 研修会 ・ 授業 （記録用）	
日 時	平成29年1月16日 （午後2時50分 ～ 3時35分）
校 園 名	天王寺小学校
名 称	学校保健委員会
対 象	児童（保健委員） 保護者 教職員 学校医 学校眼科医 （約25名）
講 師	西本達哉（学校歯科医） 牧野喜代（養護教諭）
演 題	「良い生活習慣を身につけよう！」～口と歯を守るために～
講師内容	<p>3つの実習を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 咀嚼力判定ガムによる咀嚼の判定 2. フッ化物塗布たまご実験 3. あいうべ体操
質問事項	<p>実習中は特になかったが、終わってから児童たちは興味津々で前に出てきて、不思議そうに卵を見て、どうして泡の出方が違うのかと質問してきた。</p>
感想・課題	<p>毎年1月に学校保健委員会を開催しているが、昨年暮れに臨時検診に行った際に、養護教諭から提案があり、3つのことをしたいと言われた。養護教諭は昨年夏休みの第6回「歯・口の健康づくり」研修会を受講されて、市学歯会報にも感想文を書いて下さったが、その際に「フッ化物のたまご実験はフッ化物のむし歯予防効果が理解できたので、ぜひ児童保健委員会での活動に活用したい」と書いておられたが、その通りになった。</p> <p>養護教諭は研修会の卵実験以外にも、年末から卵を酢に漬けたり、歯みがき剤を塗って酢に漬けたもの、水につけたものの3種類の卵も作って下さって、酢に漬けたものは見事に殻が溶けて、ゴムボールのようになっていた。歯みがき剤を塗ったものは、同じく柔らかくなっていたようだが、微妙に塗ってないものと違い、何らかの効果があるように見えた。あいうべ体操の時も、補足でPTAのお母さんたちに、小顔になる美容効果もあるようですよと言ってくれた。</p> <p>第6回「歯・口の健康づくり」研修会は養護教諭に大きな影響を与えたと思う。</p>